

Toshiya Masuda

SLIDE LECTURE & CROSSTALK

増田敏也氏を迎えて スライドレクチャー & クロストーク

特別展「ゲンダイトウゲイ*ミニ*クロニクルー
やきものはアートだ!」
の出品作家・増田敏也氏
をお迎えし、最新作を含
む自作についてお話し
いただきます。また、後半
は当館の奥村泰彦館長と
トークを展開します。

開催日 10月3日(土)

増田敏也 Low pixel CG「ボーナスポイント (パイナップル)」 2019

第1部

増田敏也氏によるスライドレクチャー

- 会場 兵庫陶芸美術館研修棟 1F
セミナー室
- 時間 11:00 ~ 12:00
- 予約 事前申込制 (先着 100 名)
* 予約方法は裏面参照
- 参加料：無料
* 観覧券半券が必要

第2部

クロストーク 増田敏也 × 奥村泰彦

- 会場 兵庫陶芸美術館展示棟 1F
展示室 2
- 時間 13:30 ~ 14:30
- 予約 事前申し込み不要
- 参加料：無料
* 観覧券半券が必要



土と語る、森の中の美術館

兵庫陶芸美術館
The Museum of Ceramic Art, Hyogo

講師プロフィール



増田 敏也

Masuda Toshiya

1977年大阪市生まれ。1999年大阪芸術大学芸術学部工芸学科金属工芸コース卒業。在学中よりデジタルイメージを意識した制作を始める。卒業後金属から陶へ転向。デジタルフレームをモチーフに、明るい緑色の格子状の陶板で組み立てられた車の作品《AnachroCG》シリーズを制作。2003年第26回長三賞常滑陶芸展長三賞。2005年第7回国際陶磁器展美濃審査員特別賞。2007年頃から、面取りと着色により、小さな立方体(ドット)がいくつも積み重なって出来たような《Low pixel CG》シリーズを発表。モチーフを低解像度のデジタルイメージに変換し、さらに陶芸で表現するという、これまでにない斬新な手法で注目を集めた。2016年第10回パラミタ陶芸大賞展(パラミタミュージアム、三重)。2021年No Man's Land—陶芸の未来、未だ見ぬ地平の先(兵庫陶芸美術館)。ごく身近にある何気ないものや風景から、国宝や重要文化財に指定されている古陶磁の名品まで、取り扱うモチーフは幅広い。ここでは、「デジタル」と「陶芸」という意外な組み合わせから生じるギャップや共鳴から、見る者の「視覚」と「記憶」に働きかけ、既存のイメージや概念に揺さぶりを掛けている。しかし、現代美術的なアプローチで問いかけるのは、陶芸をめぐる根源的な問題であり、それがまた陶芸の新しい領域を広げる可能性に繋がっている。2026年これまで避けてきた釉薬を本格的に使用し、人型をモチーフとする新作を発表した。

第1部 増田敏也氏によるスライドレクチャー お申し込み方法

日 時：10月3日(土)11:00~12:00

場 所：研修棟1Fセミナー室

スライドレクチャー申込方法

QRコード又はアドレスよりお申し込みください。

https://apply.e-tumo.jp/pref-hyogo-u/offer/offerList_detail?tempSeq=6277



本スライドレクチャーは先着順で受付をしています。定員に達した場合等、ご参加いただけない場合のみご連絡いたします。

【お問い合わせ】

兵庫陶芸美術館 企画・事業課

〒669-2135

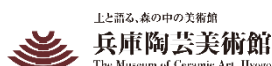
丹波篠山市今田町上立杭4

TEL 079-597-3961

FAX 079-597-3967

E-mail: togei@pref.hyogo.lg.jp

<https://www.mcart.jp>



上と語る、森の中の美術館
兵庫陶芸美術館
The Museum of Ceramic Art, Hyogo



会場アクセス

[鉄道・バスをご利用の場合]

- JR福知山線「相野駅」下車(大阪駅から約50分)
駅前からウイング神姫(路線バス)「兵庫陶芸美術館」
「こんだ薬師温泉 ぬくもりの郷」または「清水寺」行き乗車約15分、
「兵庫陶芸美術館」下車

[自動車をご利用の場合]

- 舞鶴若狭自動車道・三田西ICから約15分、
または丹南篠山口ICから約20分
- 中国自動車道・滝野社ICから国道372号を東へ約30分
- 阪神方面から国道176号を北上し、三田市四ツ辻信号を
左折約15分

- 駐車場無料(敷地内 普通車58台分)、大型可

[その他]

- 無料貸出有(車椅子4台、ベビーカー2台)